

善行地区東部での実証運行計画（案）

目 次

1	これまでの経緯	・ ・ ・ ・ 1
2	実証運行、本格運行に向けた流れ	・ ・ ・ ・ 2
3	実証運行に向けたアンケート結果の報告	・ ・ ・ ・ 3
4	実証運行計画（案）	・ ・ ・ ・ 6
5	今後のスケジュール	・ ・ ・ 10

第 7 回 藤沢市地域公共交通会議

2014 年 10 月 17 日（金）

藤 沢 市

1. これまでの経緯（優先エリアの設定）

第5回地域公共交通会議において、地域内交通（予約型乗合タクシー等）の導入に関する優先エリアとして、以下の視点から、A2エリアおよびA4エリアの優先エリアとして取り組むこととしました。

○交通マスタープランに示す「徒歩、バス、自転車で最寄駅まで15分以内に行ける交通体系を目標」とすることを念頭に、善行地区での地域内交通（予約型乗合タクシー等）の導入について、優先エリアを以下の通り設定します。

○優先エリア1における地域内交通（予約型乗合タクシー等）の導入を最優先とし、その後、優先エリア2、優先エリア3の順に導入をめざします。

<参考>優先エリアの設定

- 優先エリア1 ⇒ **A2エリア**、**A4エリア**
- 優先エリア2 ⇒ **A1エリア**
- 優先エリア3 ⇒ **A3エリア**

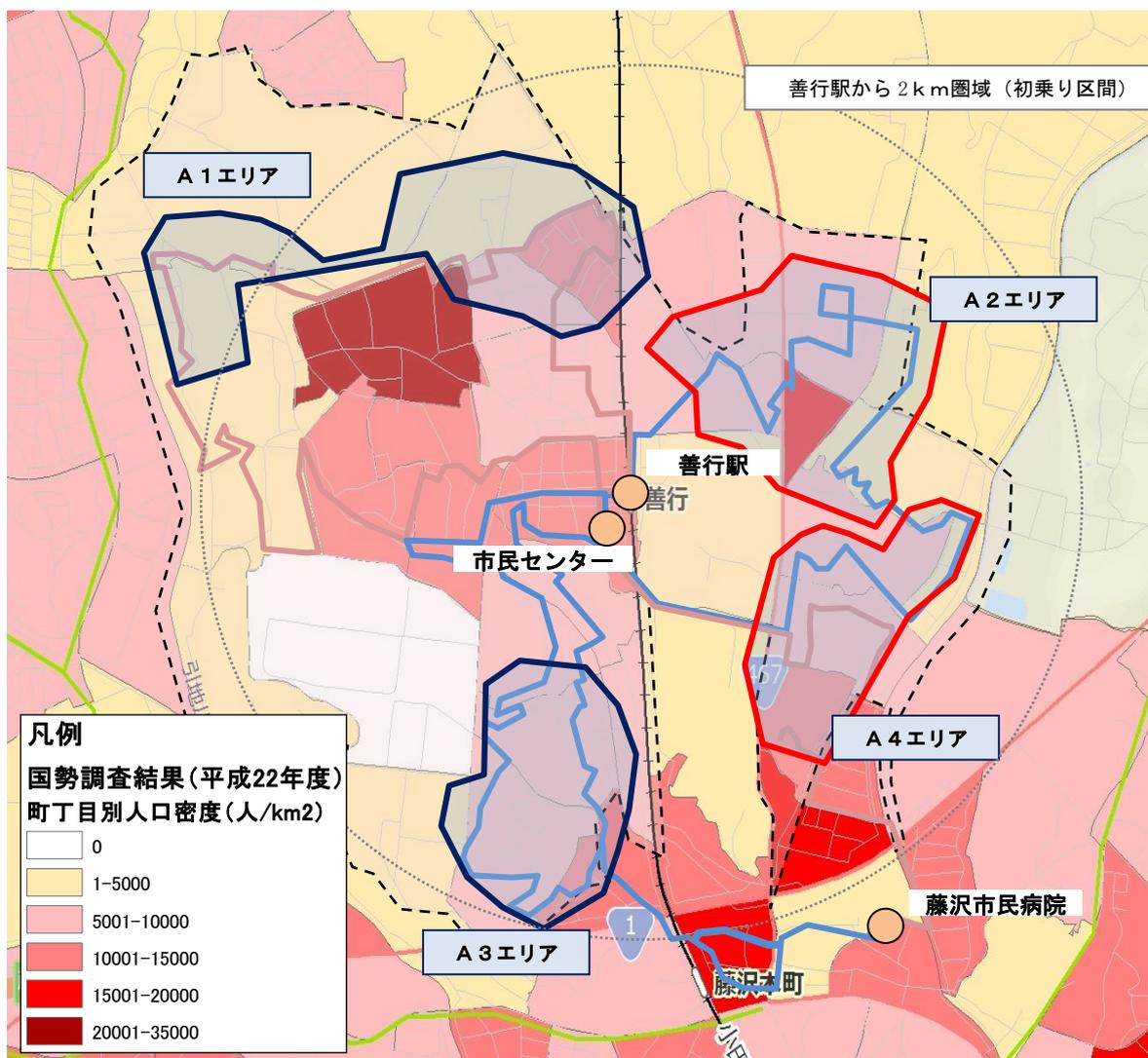


図-1 優先エリアの位置図

2. 実証運行、本格運行に向けた流れ

○前提条件

- ・ 本格運行では、初期の準備費用以外の運行維持に関する市からの補助は想定しないため、実証運行時点でも運賃収入または会費や基金を合わせた収入で運行経費を賄えると判断されるよう収支バランスを確保することが条件となります。

○地域交通の導入・継続の判断

- ・ 実証運行から本格運行への移行、本格運行の継続の判断のフローを以下に示します。

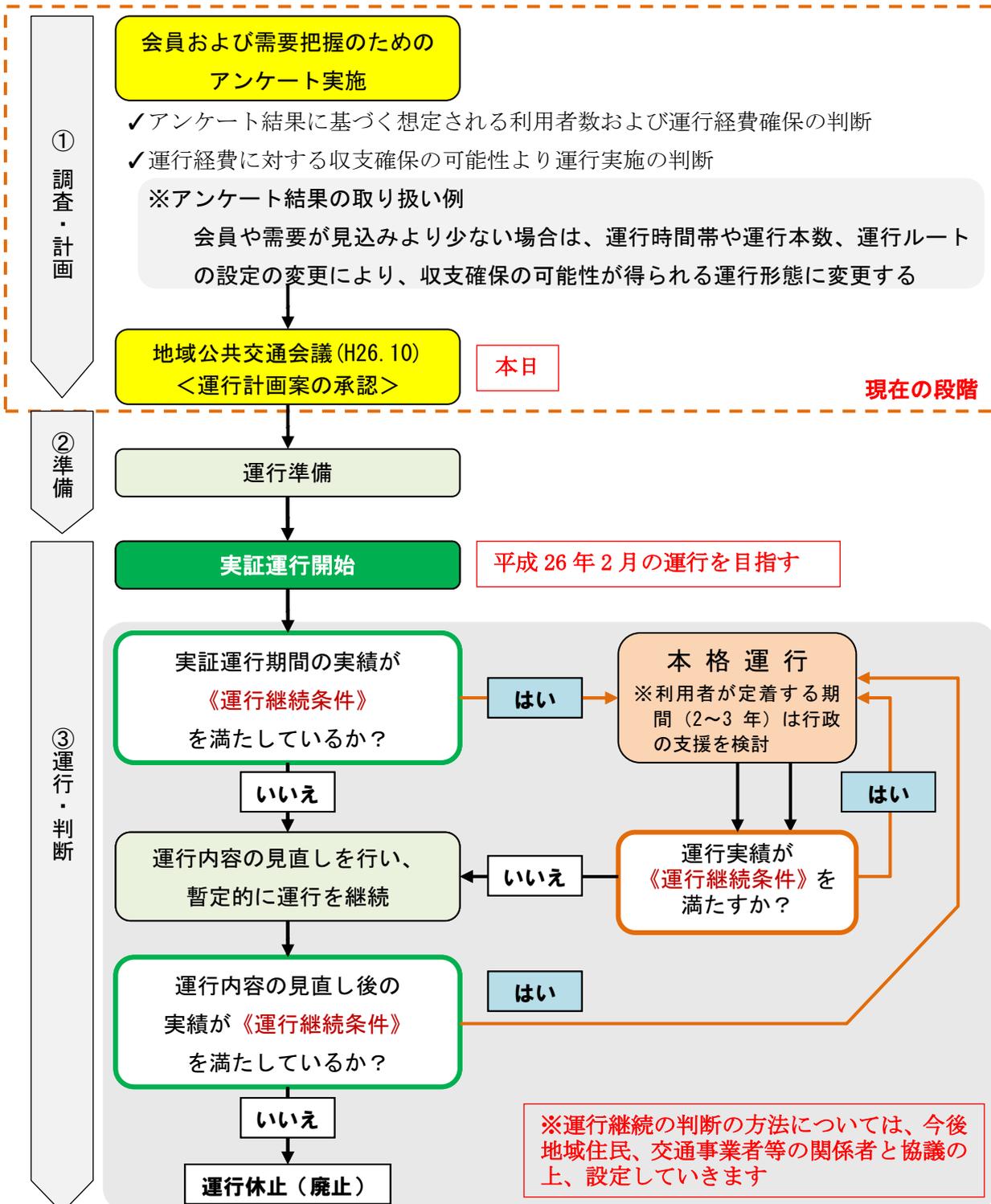


図-2 実証運行から本格運行への移行、本格運行の継続の判断のフロー

3. 実証運行に向けたアンケート結果の報告

(1) アンケートの目的

7月から8月にかけて実施させていただいたアンケート調査は、善行駅東側の地区に公共交通の導入を計画するために、需要を調査するために実施しました。

需要調査では、アンケート内で運行の具体的な計画を示し、その是非から、実証運行が可能であるか、どの程度の方の要望に対してどのような運行形態が最適かを推定するもので、実証運行、その先の本格運行の内容を左右するデータとして利用しました。

今回の調査では、必要な需要が確保されると見込まれたことから、最適な運行形態の決定に利用しています。

アンケートの際は、以下に示す運行の仮定条件を示し、意見を伺いました。

新たな公共交通の導入にあたって仮定する条件

※条件は今後変更になることがあります。

- ・ 運行ルート : 別紙に示す停留所～善行駅東口
- ・ 所要時間 : 10分～15分程度
- ・ 運賃・会費 : 利用は、会員制ではありませんが、下表のように会員・非会員で運賃等が異なります。

	片道運賃	会費	メリット
会員	300円/回	500円/月	・ 運賃の割引他、検討中
非会員	400円/回	——	——

※ 会費は、利用者数、財源を安定させるため、導入を検討するものです。

- ・ 運行頻度 : 1時間に1本程度
- ・ 運行時間 : 朝9時台～夕方4時台

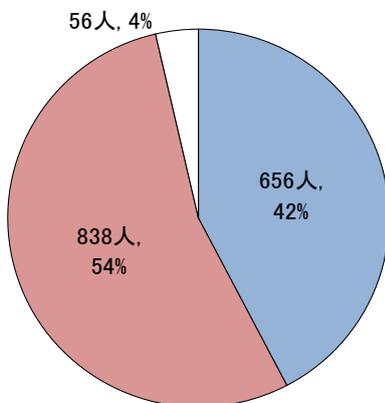
(2) 配布数、回収数 (2014年9月10日時点)

9つの自治会・町内会 2,065 世帯に配布し、798 世帯からアンケートを回収しました (世帯回収率は 38.6%)。回収した票数は、合計 1,550 票となっています。

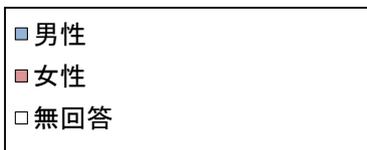
(3) 回答者の個人属性

回答者の属性は以下の通りで、年齢層は40歳～70歳代の方からの回答が多くなっています。

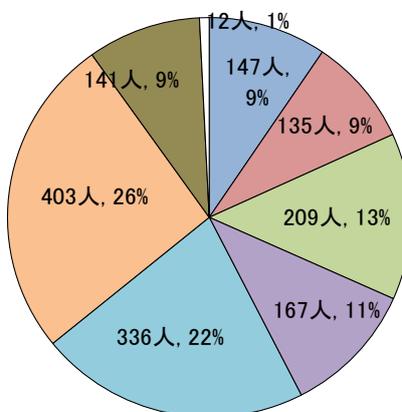
■性別



回答者：1,550名



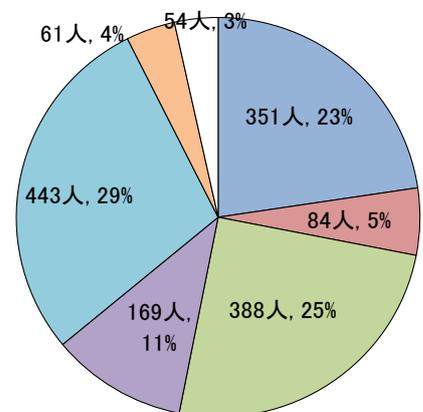
■年代



回答者：1,550名



■職業

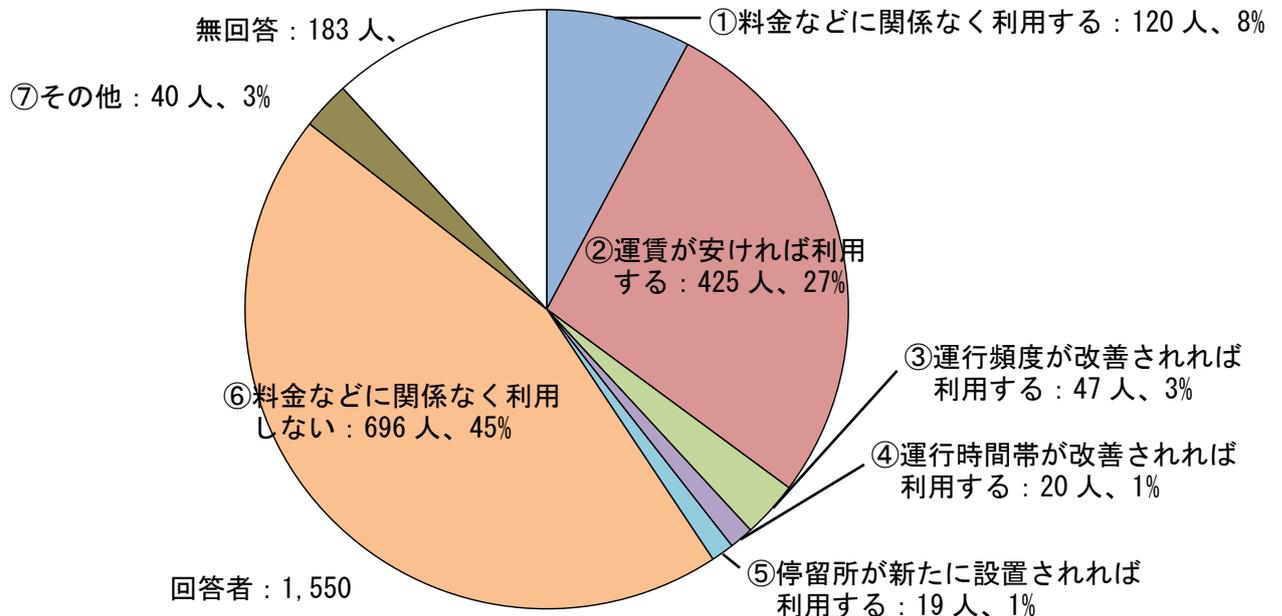


回答者：1,550名



(4) 新たな公共交通の利用意向

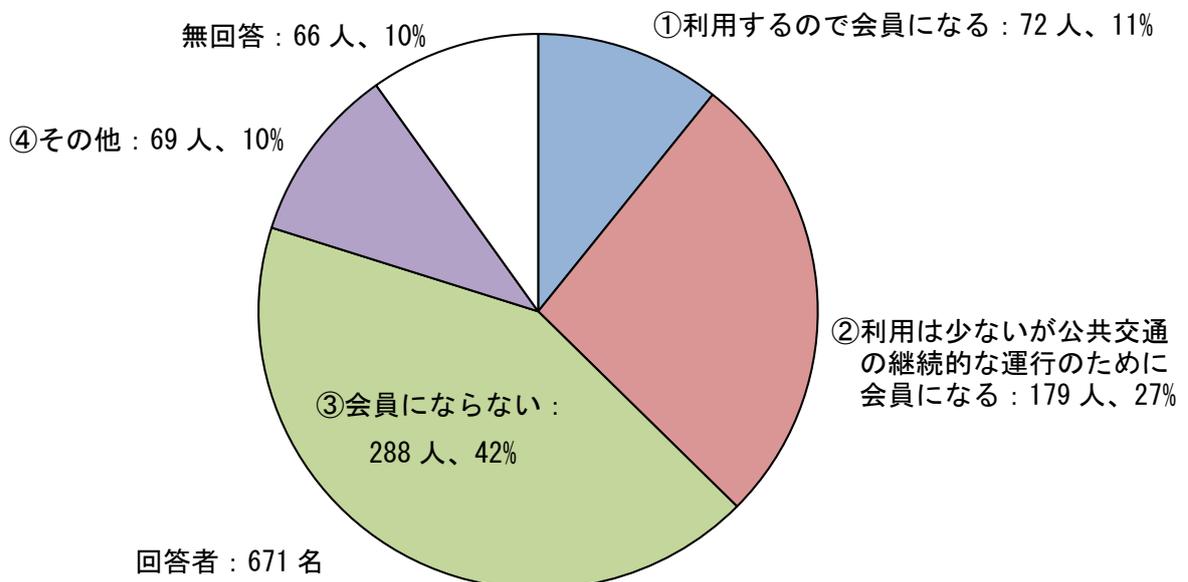
- ・条件に係わらず「利用する」とした方は、全体の8%となっています。
- ・運賃や本数、時間帯などの課題が解決できれば「利用する」とした方は、全体の32%となっています。
- ・条件に係わらず「利用しない」とした方は、全体の45%となっています。



(5) 会費についての考え方

※ (4) 新たな公共交通の利用意向で「⑥料金に関係なく利用しない」または「無回答」と回答した方を除く

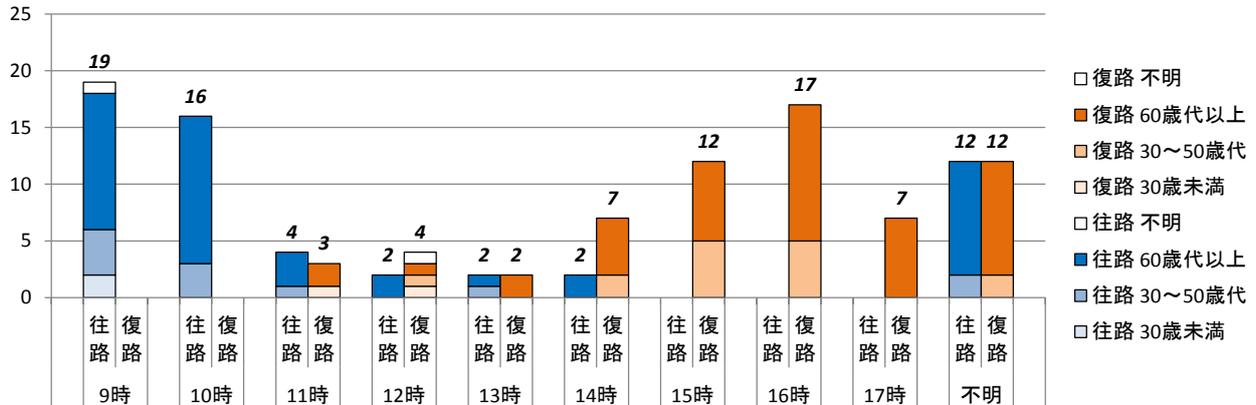
- ・「①利用するので会員になる」または「②利用は少ないが公共交通の継続的な運行のため会員になる」とした方は全体の28%となっており、およそ250名となっています。
- ・「②利用は少ないが公共交通の継続的な運行のため会員になる」方や「④その他」とした方の多くは、現在は自家用車で移動できるため必要ないが、将来は利用するために会員になる等、当該計画を積極的に支援していただける回答も多くいただいております。



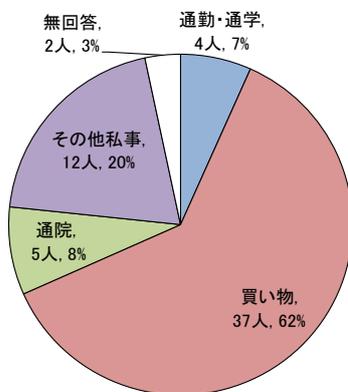
(6) 新たな公共交通の利用時間帯および利用属性

・行きは9～10時に利用が集中しており、帰りは15～17時台での利用が多くなっています。

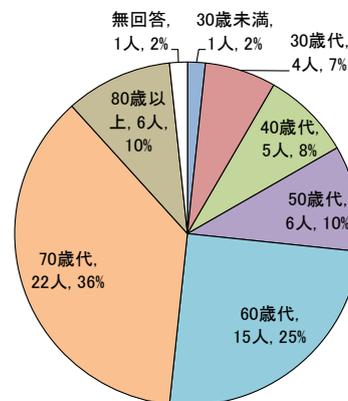
■時間帯別の利用者数



■新たな公共交通の利用目的



■新たな公共交通の利用年代



(7) 新たな公共交通を利用しない理由

・②運行時間、頻度、⑥ルートが遠回りの意見に対しては、ニーズに合うような改善を検討しました。
また、③いずれ使うかもしれないという意見については、乗合交通の実現と維持に向けての地域の方の支援、協力への理解が必要となります。

分類	主な意見の内容	意見数
①別の交通手段がある	・徒歩のほうが早い、マイカーやタクシー、既存バス路線を利用する	361
②運行時間、頻度	・運行時間が合わない(通勤等)、頻度が少ない	55
③いずれ使うかもしれない	・現在は自動車等を利用しているが、いずれ使うかもしれない	53
④運動・健康	・健康のために歩いているため必要ない	47
⑤善行駅に行かない	・善行駅に行く機会がないため必要ない	41
⑥ルートが遠回り	・駅までに経由地が多く、遠回り、歩くより時間がかかる	33
⑦家族の送迎	・身体的困難、時間的自由度から家族の送迎を利用する	17
⑧新規のバス停が近くにない	・出発地目的地からバス停が遠い	14
⑨料金	・高い(頻度の割に高い、他社路線バス[ハチ公バス]より高い)	10
⑩外出しない、できない	・外出しない、外出が困難	2
⑪その他	・現在の状況で不便を感じていない、身体的困難で乗れない 等	78
合計		711

4. 実証運行計画（案）

アンケート調査結果を踏まえ、実証運行では以下のような運行形態で運行します。

<実証運行計画の内容（案）>

項目	運行内容	(参考)アンケートの条件	アンケートの条件からの変更理由
① 運行形態	定期路線型を前提とする	——	——
② 車両	セダン型車両（定員4名）を基本 （タクシー会社の保有する車両） ※乗りこぼし対策を予定（車両の大型化、追尾車など）	——	——
③ 運行ルート (図-3 参照)	北ルート：善行駅東口～亀井野団地～善行駅東口 南ルート：善行駅東口～立石ハイツ～善行駅東口	北ルート、南ルートを含めた循環ルート	○アンケート結果より、午前9時台、10時台、16時台など利用が多い時間帯では1循環で全ての利用者の輸送が難しいため。また、アンケート調査で想定した1ルートでの循環について、ルートの短縮に関する要望が多いため。
④ 事前予約	なし	——	——
⑤ 事業者	フジ交通、湘南相中（週単位で分割して運行を予定）	——	——
⑥ 運賃	大人（中学生以上）：250円 小人（未就学児除く中学生未満）：130円 幼児（未就学児）：大人1名につき2名まで無料	300円（会員） 400円（非会員） ※会費は500円/月	○アンケート結果より、希望する運賃について300円より安い運賃の希望が多かった。 ○運賃の引下げによる利用者数の拡大と収支が黒字化できる運賃として250円に設定。
⑦ 運行日	平日のみを基本とする	——	——
⑧ 所要時間	北ルート、南ルートともに <u>10分程度を想定</u>	1循環10～15分程度	○1循環の利用者数を拡大するため、運行ルートをアンケート調査で想定していた1循環のルートから、北ルート、南ルートへの変更が必要となり、1ルートあたりの運行距離が短縮され、所要時間も短縮する。 ○1循環の所要時間が短縮され、所要時間を問題視して、利用しないと回答された方の取込みを図る。
⑨ 運行時間	北ルート、南ルートともに <u>午前9時～午後5時</u>	午前9時台～午後4時台	○アンケート調査より、午後5時台の利用が多く、利用者数が拡大することから、運行時間を拡大。
⑩ 運行本数	北ルート、南ルートともに <u>12回（午前9時、10時、午後4時台は2回を想定）</u>	8回（1時間に1本）	○アンケート調査より、午前9時、10時、午後4時台は利用が多く見込まれることから、乗りこぼしに配慮して運行本数を増加。 ○利用者数の多い時間を2便とすることで、利便性を拡大されるため、運行間隔に不満があり、利用しないと回答された方の取込みを図る。

<実証運行のルート (案)>

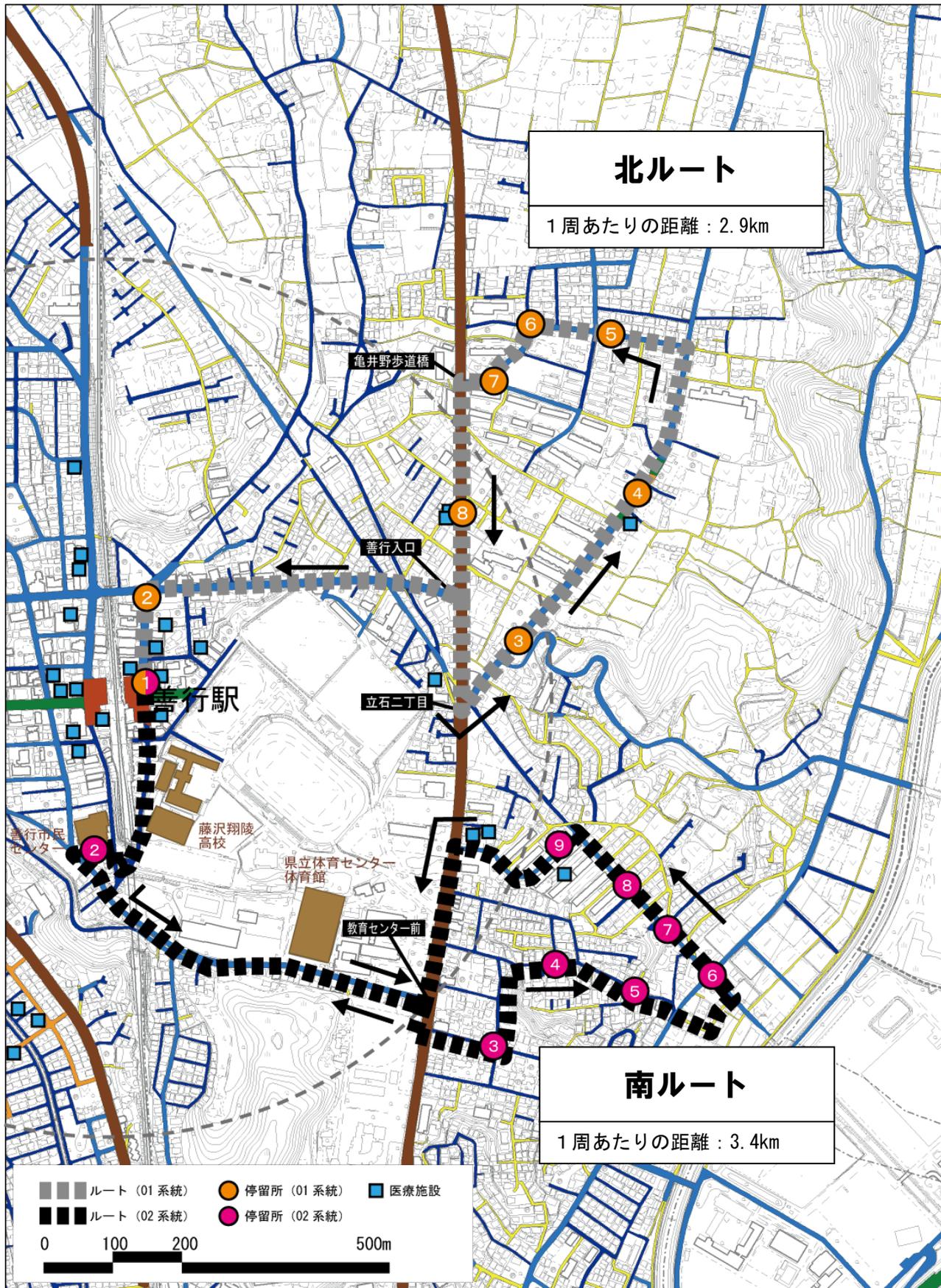


図-3 実証運行ルート (案)

<収支見込>

・実証運行の段階ではセダン型が基本となり、会費も見込めないことから、赤字が見込まれていますが、本格運行の際は車両の改善と、会費収入により、黒字化できる見込みです。

○予測の条件

- ・運行の時間帯：9時台～17時台
- ・運行本数：12回/日（1時間に1本とし、利用が多い時間帯は複数回運行）
- ・運行ルート：前頁に示す北ルート、南ルートそれぞれで運行
- ・運行費用：1,200円/回
（1時間で南ルート、北ルートを最低1回ずつ運行するため、時間当たり2,400円）

○予測結果

■ワンボックス型、本格運行

ケース	運賃	運行本数	運行時間帯	会員 (人/日)	非会員 (人/日)	合計 (人/日)	運賃収入 (円/月)	会費収入 (円/月)	運行経費 (円/月)	収支 (円/月)
ケース1	300円	1本/時	9-17	52	39	91	624,000	100,000	633,600	90,400
ケース2	250円		時台	62	47	109	639,000	100,000	633,600	105,400

※運賃収入は、会員は設定金額、非会員は設定金額+100円とした場合
 ※1ヶ月に20日運行と仮定して運賃収入、運行経費を試算
 ※運行経費は、セダン型車両の1.1倍として運行経費を算出(1,200円×1.1)

■ワンボックス型、実証運行

ケース	運賃	運行本数	運行時間帯	会員 (人/日)	非会員 (人/日)	合計 (人/日)	運賃収入 (円/月)	会費収入 (円/月)	運行経費 (円/月)	収支 (円/月)
ケース1	300円	1本/時	9-17	52	39	91	546,000	-	633,600	-87,600
ケース2	250円		時台	62	47	109	545,000	-	633,600	-88,600

※運賃収入は、会員・非会員ともに設定金額とする
 ※1ヶ月に20日運行と仮定して運賃収入、運行経費を試算
 ※運行経費は、セダン型車両の1.1倍として運行経費を算出(1,200円×1.1)

■セダン型、本格運行

ケース	運賃	運行本数	運行時間帯	会員 (人/日)	非会員 (人/日)	合計 (人/日)	運賃収入 (円/月)	会費収入 (円/月)	運行経費 (円/月)	収支 (円/月)
ケース1	300円	1本/時	9-17	52	39	91	624,000	100,000	600,000	124,000
ケース2	250円		時台	62	47	109	639,000	100,000	648,000	91,000

※運賃収入は、会員は設定金額、非会員は設定金額+100円とした場合
 ※1ヶ月に20日運行と仮定して運賃収入、運行経費を試算
 ※運行経費は1,200円/回

■セダン型、実証運行

ケース	運賃	運行本数	運行時間帯	会員 (人/日)	非会員 (人/日)	合計 (人/日)	運賃収入 (円/月)	会費収入 (円/月)	運行経費 (円/月)	収支 (円/月)
ケース1	300円	1本/時	9-17	52	39	91	546,000	-	600,000	-54,000
ケース2	250円		時台	62	47	109	545,000	-	648,000	-103,000

※運賃収入は、会員・非会員ともに設定金額とする
 ※1ヶ月に20日運行と仮定して運賃収入、運行経費を試算
 ※運行経費は1,200円/回

■ケース別、車両別の時間当たりの運行回数

※1時間に1本として、乗りこぼしが発生しないための運行回数

	ケース1		ケース2	
	セダン	ワンボックス	セダン	ワンボックス
9時	4	4	5	4
10時	4	4	4	4
11時	2	2	2	2
12時	2	2	2	2
13時	2	2	2	2
14時	2	2	2	2
15時	3	2	3	2
16時	4	4	5	4
17時	2	2	2	2
合計	25	24	27	24

単位：回

< (補足) 乗りこぼし対策の考え方(予備車による追尾運行の対応) >

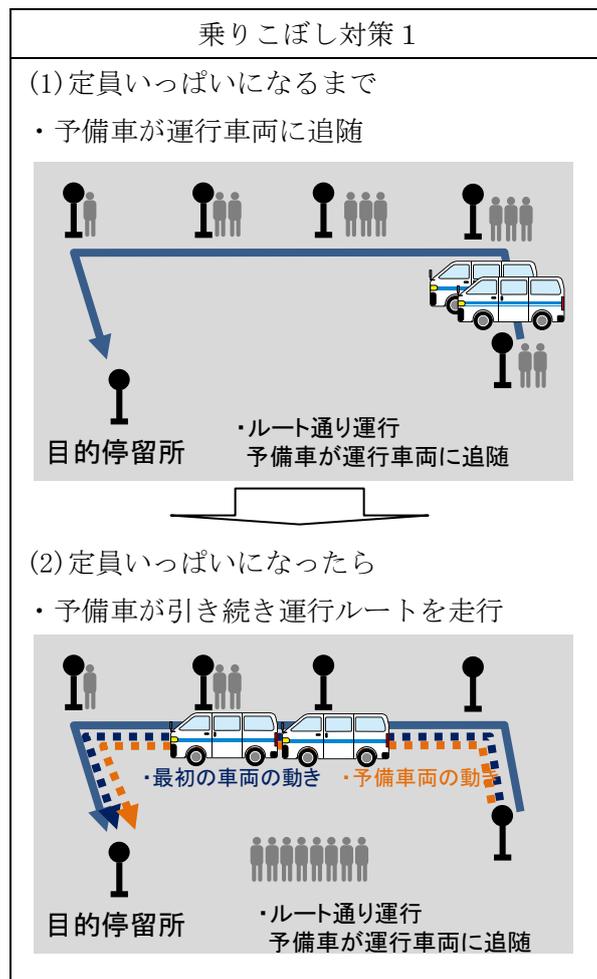
朝夕など、利用者が集中する時間帯において、定員オーバーによる乗りこぼし発生への対応として、次のパターンを想定しております。

乗りこぼし対策1：常に定員を超える利用が発生することが明確な時間帯（朝など）

- ・あらかじめ予備車両が追随し、2台分で経路を運行する方法

乗りこぼし対策2：想定しない時間帯での乗りこぼしが発生する場合（日中など）

- ・無線配車等で、追尾者を追加的に運行する方法

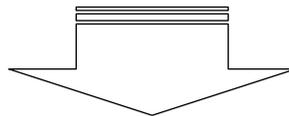


5. 今後のスケジュール

- ・今後のスケジュールは以下のように想定しています。

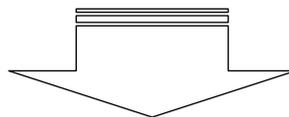
<これまで>

平成 26 年 ～9 月	アンケート調査の実施、善行地区のりあい部会での検討
平成 26 年 9 月	実証運行に向けた概要説明会の開催 (9 月 27 日 (土) に実施)
平成 26 年 9 月、10 月	関係者調整



<本日>

平成 26 年 10 月	藤沢市地域公共交通会議の開催 (実証運行計画の審議) (本日 : 10 月 17 日)
-----------------	--



<今後>

平成 26 年 10～1 月	実証運行開始に向けた関係者調整
平成 27 年 1 月	実証運行に関する時刻表・路線図の各個配布、広報の掲載、 自治会への回覧
平成 27 年 2 月	実証運行開始 (予定)

参考1：アンケート調査票

依頼文

●●町内会

2014年（平成26年）7月

各位

善行地区郷土づくり推進会議
議長

藤沢市 計画建築部 都市計画課
課長

善行地区東部での緑ナンバー（有償）による 新たな公共交通の導入アンケートにご協力ください

本用紙をお読みの上、「別紙」に示す“運行エリア”やアンケート冒頭の“新たな公共交通の導入にあたって仮定する条件”をご覧ください。ご家族の**中学生以上の方全員が、「アンケート調査票」にご回答ください。**

日頃より本会議の活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

現在、交通が不便な地域の改善を、次のように進めることとしております。

- ・善行駅東側の地区（別紙参照。）に公共交通の導入を優先して計画します。
- ・実証運行は、将来の継続的な運行の可否を判断するために行います。
- ・運行は、利用者の運賃および会費でまかなう有償運行とします。
- ・実証運行は、今回のアンケート調査に基づき計画し、利用者、会員について目途がたつた段階で、数ヶ月行う予定です。（平成26年度後半を予定）
- ・アンケート結果で利用が見込まれない場合には、計画の中止も検討します。

今回のアンケート調査は、この地区で新たな公共交通を導入するための重要な資料として利用する予定です。住民の皆様のご協力をお願いいたします。

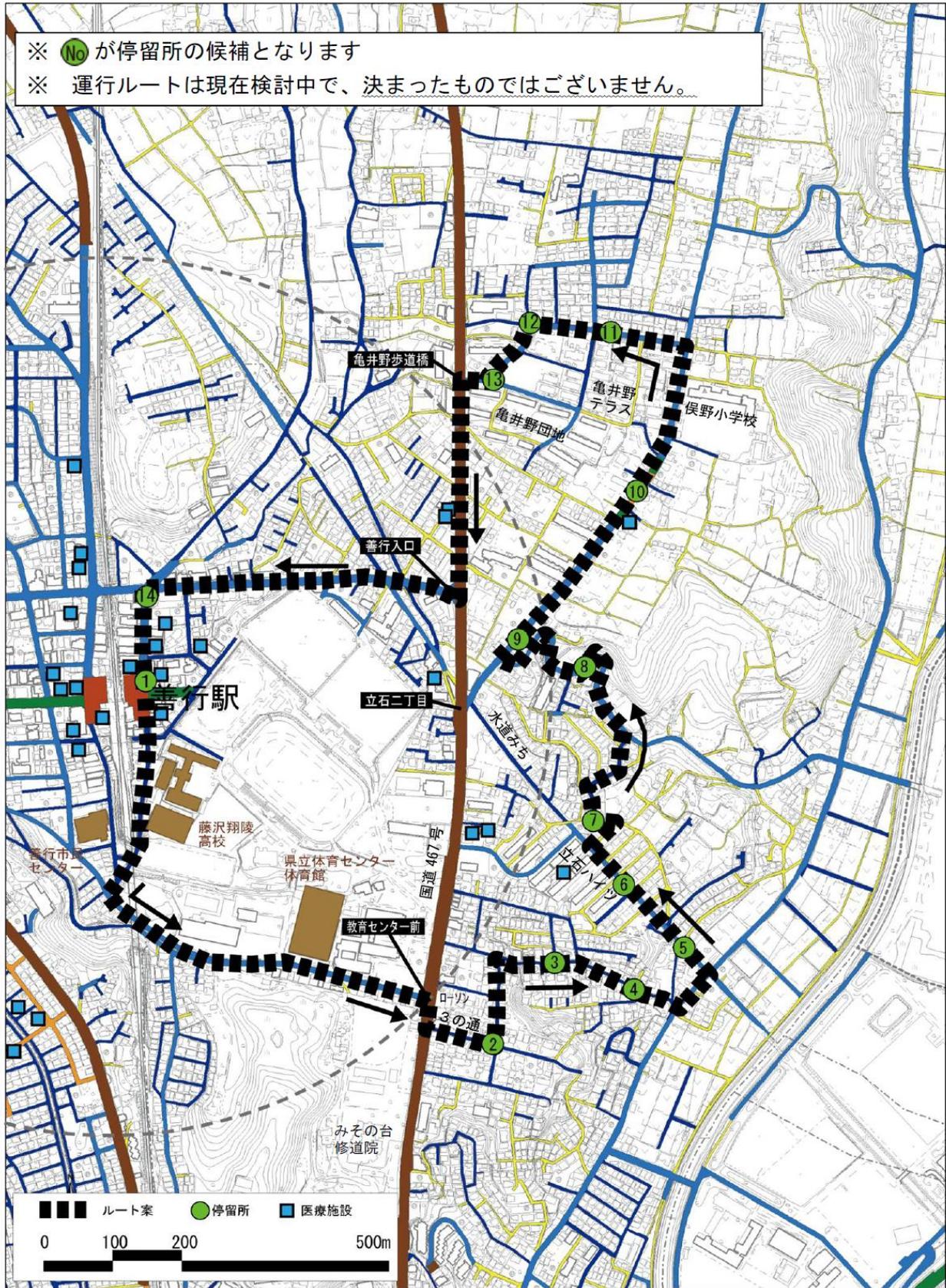
<留意事項>

- お答えいただいたアンケート調査票を8月20日（水）までに班長・組長に提出してください。集計結果の報告は9月末頃に行なう予定です。
- アンケート調査票は4枚入れてありますが、必要な枚数のみご回答いただき、お配りした封筒に入れて提出してください。（枚数が不足する場合は、特に必要な方を優先してお答えください）
- アンケートは、対象となる地域の方にお配りしています。お答えいただいた内容は、調査目的以外に使用することはありません。
- 実証運行を行う際は、別途ご案内します。
- ご不明な点につきましては、お手数ですが、次のお問い合わせ先までお願いします。

お問い合わせ先 ： 藤沢市 善行市民センター 電話 81-4431
 ： 藤沢市 都市計画課 都市交通計画担当 電話 50-3537

善行地区での新たな公共交通の導入に向けて仮定する運行条件図

※ No. が停留所の候補となります
※ 運行ルートは現在検討中で、決まったものではありません。



アンケート調査票

●●町内会

善行地区での緑ナンバーによる新たな公共交通の導入アンケート

このアンケートは、ご家族のなかの、中学生以上の方がお答えください。
回答は、**該当する番号に○**または()の中に回答をご記入ください。

新たな公共交通の導入にあたって仮定する条件

※条件は今後変更になることがあります。

- ・運行ルート : 別紙に示す停留所～善行駅東口
- ・所要時間 : 10分～15分程度
- ・運賃・会費 : 利用は、会員制ではありませんが、下表のように会員・非会員で運賃等が異なります。

	片道運賃	会費	メリット
会員	300円/回	500円/月	・運賃の割引他、検討中
非会員	400円/回	—	—

※ 会費は、利用者数、財源を安定させるため、導入を検討するものです。

- ・運行頻度 : 1時間に1本程度
- ・運行時間 : 朝9時台～夕方4時台

問1 あなた自身について、お聞かせください。

性別	① 男性	② 女性		
年代	① 30歳未満	② 30歳代	③ 40歳代	④ 50歳代
	⑤ 60歳代	⑥ 70歳代	⑦ 80歳以上	
職業	① 会社員・公務員	② 学生	③ 主婦	④ パート・アルバイト
	⑤ 無職	⑥ その他 ()		
住所	藤沢市 () ※番地の手前までご記入ください (例: 立石1丁目)			

問2 普段の移動状況についてお伺いします。

あなたが普段、善行駅周辺にお出かけする場合の、目的、頻度、交通手段をお答えください。

移動目的	①通勤・通学	②買い物	③通院	④その他私事
	⑤その他 ()			
時 間	行き 善行駅周辺に () 時～() 時 ごろ			
	帰り 善行駅周辺から () 時～() 時 ごろ			
移動頻度	①平日の週に5日以上	②平日の週に3～4日	③平日の週に1～2日	
	④休日のみ	⑤月に2～3日	⑥月に1日程度	⑦ほとんど善行駅に行かない
交通手段	①自家用車 (自分で運転)	②自家用車 (ご家族等の送迎)	③施設等の送迎バス	
	④タクシー	⑤自転車	⑥徒歩	
	⑦その他 ()			
目的地	施設名・住所等 ()			

問3 善行地区での新たな公共交通のシステムについてお伺いします。

(1) 新たな地域交通を利用するとした場合、1回あたり300円前後の運賃がかかる見込みですが、該当するものに○をつけて、ご回答ください。

- ①利用する
- ②運賃が安ければ利用する (高くても_____円くらい)
- ③運行頻度が改善されれば利用する (少なくとも_____本/時間)
- ④運行時間が改善されれば利用する (_____)時~(_____)時まで
- ⑤停留所が新たに設置されれば利用する (_____ 付近)
※ 停留所位置が表現しづらい場合には、別紙の図中にご記入いただき、提出してください。
- ⑥料金などに関係なく利用しない ⇒ (4)を回答の上、問5にお進みください。
- ⑦その他 (_____)

(2) 会費の徴収について、最も適当なもの1つに○をつけてください。

なお、会費は、利用者数、財源を安定させるため、導入を検討するものです。

- ①利用するので会員になる ②利用は少ないが公共交通の継続的な運行のため会員になる
- ③会員にならない ④その他 (_____)

(3) 会費の金額について、どのように考えますか？

- ①もっと高くても良い (_____) 円/月 ②適切 ③安くすべき (_____) 円/月

(1) で⑥以外の回答をされた方は、(3) まで回答し、問4以降にご回答ください。

(1) で⑥と回答した方は、(4) を回答の上、問5にお進みください。

※ (1) で「⑥料金などに関係なく利用しない」とお答えになった方にお伺いします。

(4) 新たな公共交通を利用しない理由について、以下に理由をお書きください。

問4 善行地区での新たな公共交通の利用について

(1) 新たな公共交通の利用頻度について最も適当なもの1つに○をつけてください。なお、回答は問3で希望された条件に沿った運行が行なわれるものとして、ご記入ください。

- ①ほぼ毎日 ②週に3~4日 ③週に1~2日 ④月に2~3日 ⑤月に1日程度

(2) 新たな公共交通の想定する利用時間帯について、行きと帰り別にお書きください。行き、あるいは帰りいずれかのみ利用の方は、いずれかのみお書きください。

- ①行き→(午前・午後)(_____)時ごろ ②帰り→(午前・午後)(_____)時ごろ

(3) 利用する停留所を別紙に記載する停留所番号からお選びください。(複数選択可)

- ①自宅側停留所→(_____) ②目的地側停留所→(_____)

※ 行き先が複数となる場合は、目的地側停留所を複数ご記入ください。

問5 自由意見(善行地区での新たな公共交通について、ご意見等あればお願いします)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

参考2：新たな公共交通の想定される利用者数、収支の予測<シミュレーション>

1) 利用者数及び運賃収入の予測

アンケートの結果より、緑ナンバーによる新たな公共交通の利用者数の推定、収支の推定を行いました。新たな公共交通の運行条件は、利用料金が250円と300円の2ケース、運行時間帯が9～16時と7～22時の2ケースで、計4ケースとしています。

ケース	運賃	運行本数	運行時間帯	会員 (人/日)	非会員 (人/日)	合計 (人/日)	運賃収入(円/日)	
							※1	※2
ケース1	300円	1本/時	9-16 時台	48	38	86	29,600	25,800
ケース2	250円			54	60	114	34,500	28,500
ケース3	300円		7-22 時台	56	46	102	35,200	30,600
ケース4	250円			62	70	132	40,000	33,000

※1:会員は設定金額、非会員は設定金額+100円とした場合

※2:会員、非会員共に設定金額とした場合

2) 会費による収入

回答者の中で「①会員になる」「②利用は少ないが会員になる」と回答した方は253名となっており、これらの方の希望金額をそのまま考慮した場合、113,370円/月、アンケートでの設定通り500円/月とすると、126,500円/月の会費収入となります。

今回の予測では、会員を200名、1名あたりの支払いを500円/月と仮定し、月に100,000円の会費による収入が得られると設定しました。

3) 運行経費および収支の予測

各ケースでの時間別の利用者数（次ページ参照）より、運行に必要な台数を算出し、1日当たりの経費を算出しました。これを元に、運賃収入、運行経費、会費収入による収支の予測を行いました。なお、運行車両はワンボックスタイプ（定員9名）とセダンタイプ（定員4名）の2種類を想定しています。

ワンボックス型車両では、ピーク時間に必要な車両数を少なくすることができ、運行経費がセダン型より少なく済むため、本格運行時に黒字での運行が見込める想定となっています。

運賃や運行時間帯での比較では、運賃を300円とした場合が最も収支が良くなっています。

■ワンボックス型、本格運行

ケース	運賃	運行本数	運行時間帯	運賃収入 (円/月)	会費による収入 (円/月)	運行経費 (円/月)	収支 (円/月)
ケース1	300円	1本/時	9-16	592,000	100,000	418,000	274,000
ケース2	250円		時台	690,000	100,000	543,400	246,600
ケース3	300円		7-22	704,000	100,000	627,000	177,000
ケース4	250円		時台	800,000	100,000	752,400	147,600

※運賃収入は、会員は設定金額、非会員は設定金額+100円とした場合

※1ヶ月に20日運行と仮定して運賃収入、運行経費を試算

※運行経費は、セダン型車両の1.1倍として運行経費を算出

■ワンボックス型、試運行

ケース	運賃	運行本数	運行時間帯	運賃収入 (円/月)	会費による収入 (円/月)	運行経費 (円/月)	収支 (円/月)
ケース1	300円	1本/時	9-16	516,000	-	418,000	98,000
ケース2	250円		時台	570,000	-	518,700	51,300
ケース3	300円		7-22	612,000	-	598,500	13,500
ケース4	250円		時台	660,000	-	718,200	-58,200

※運賃収入は、会員・非会員ともに設定金額とする

※1ヶ月に20日運行と仮定して運賃収入、運行経費を試算

※運行経費は、セダン型車両の1.1倍として運行経費を算出

■セダン型、本格運行

ケース	運賃	運行本数	運行時間帯	運賃収入 (円/月)	会費による収入 (円/月)	運行経費 (円/月)	収支 (円/月)
ケース1	300円	1本/時	9-16	592,000	100,000	646,000	46,000
ケース2	250円		時台	690,000	100,000	836,000	-46,000
ケース3	300円		7-22	704,000	100,000	950,000	-146,000
ケース4	250円		時台	800,000	100,000	1,064,000	-164,000

※運賃収入は、会員・非会員ともに設定金額とする

※1ヶ月に20日運行と仮定して運賃収入、運行経費を試算

■セダン型、試運行

ケース	運賃	運行本数	運行時間帯	運賃収入 (円/月)	会費による収入 (円/月)	運行経費 (円/月)	収支 (円/月)
ケース1	300円	1本/時	9-16	516,000	-	646,000	-130,000
ケース2	250円		時台	570,000	-	836,000	-266,000
ケース3	300円		7-22	612,000	-	950,000	-338,000
ケース4	250円		時台	660,000	-	1,064,000	-404,000

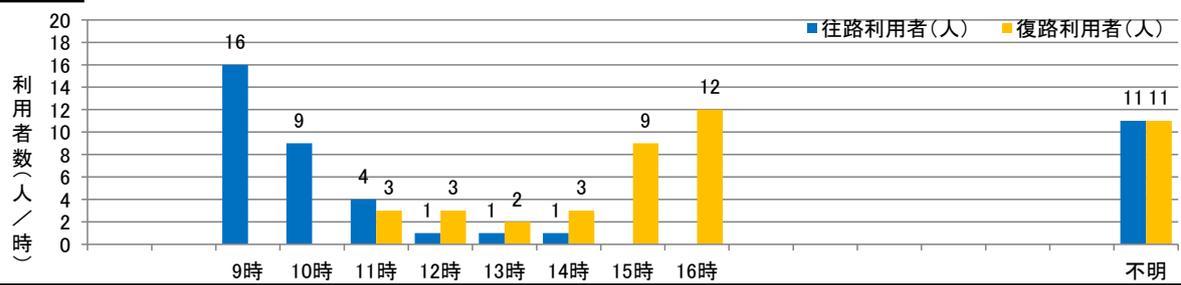
※運賃収入は、会員・非会員ともに設定金額とする

※1ヶ月に20日運行と仮定して運賃収入、運行経費を試算

4) ケース別の時間帯別利用者数および必要車両数

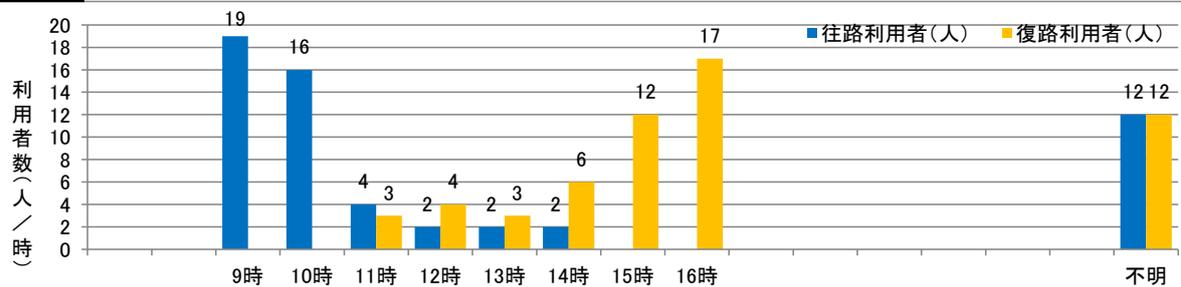
ケース別の時間帯別利用者数（往路、復路別）は、以下のようになります。

ケース 1



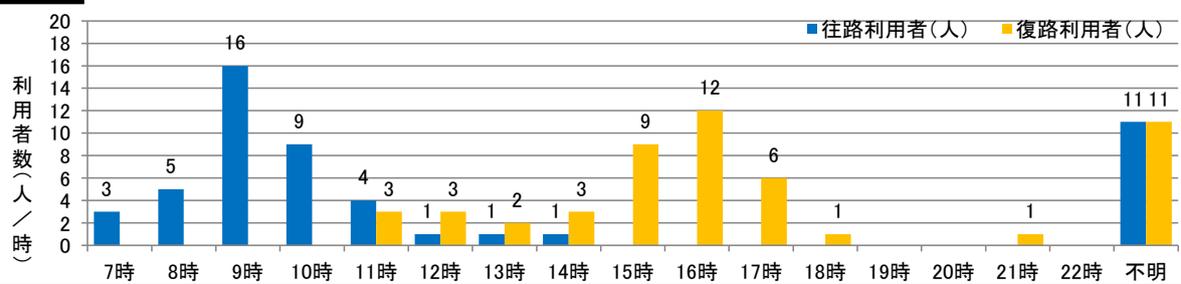
必要回数	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	計
セダン型			4回	3回	1回	1回	1回	1回	3回	3回							17回
ワンボックス型			2回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	2回							10回

ケース 2



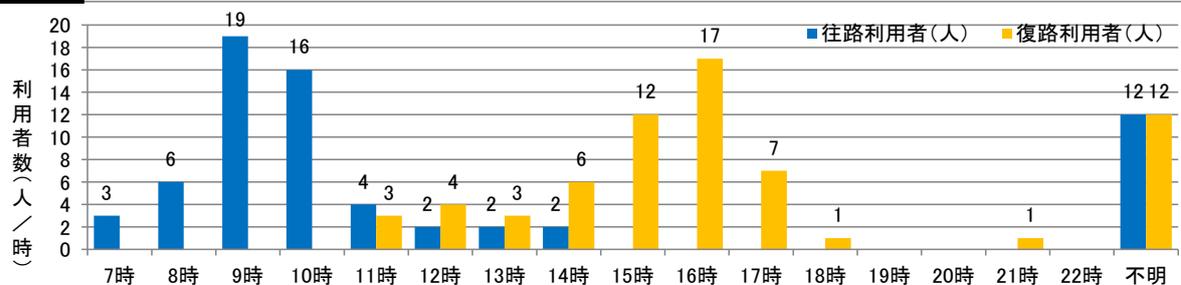
必要回数	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	計
セダン型			5回	4回	1回	1回	1回	2回	3回	5回							22回
ワンボックス型			3回	2回	1回	1回	1回	1回	2回	2回							13回

ケース 3



必要回数	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	計
セダン型	1回	2回	4回	3回	1回	1回	1回	1回	3回	3回	2回	1回			1回		24回
ワンボックス型	1回	1回	2回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	2回	1回	1回			1回		15回

ケース 4



必要回数	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	計
セダン型	2回	1回	5回	4回	1回	1回	1回	2回	3回	5回	2回	1回			1回		29回
ワンボックス型	1回	1回	3回	2回	1回	1回	1回	1回	2回	2回	1回	1回			1回		18回

5) 運行時間帯の設定

17時台での利用が比較的多くみられるため、運行時間帯を9時～17時とした場合に、運賃を300円と250円、車両をワンボックス型とセダン型を想定した場合の収支を算出しました。

■ワンボックス型、本格運行

ケース	運賃	運行本数	運行時間帯	会員 (人/日)	非会員 (人/日)	合計 (人/日)	運賃収入 (円/月)	会費収入 (円/月)	運行経費 (円/月)	収支 (円/月)
ケース1	300円	1本/時	9-17 時台	52	39	91	624,000	100,000	459,800	264,200
ケース2	250円			62	47	109	639,000	100,000	585,200	153,800

※運賃収入は、会員は設定金額、非会員は設定金額+100円とした場合

※1ヶ月に20日運行と仮定して運賃収入、運行経費を試算

※運行経費は、セダン型車両の1.1倍として運行経費を算出

■ワンボックス型、試運行

ケース	運賃	運行本数	運行時間帯	会員 (人/日)	非会員 (人/日)	合計 (人/日)	運賃収入 (円/月)	会費収入 (円/月)	運行経費 (円/月)	収支 (円/月)
ケース1	300円	1本/時	9-17 時台	52	39	91	546,000	-	459,800	86,200
ケース2	250円			62	47	109	545,000	-	585,200	-40,200

※運賃収入は、会員・非会員ともに設定金額とする

※1ヶ月に20日運行と仮定して運賃収入、運行経費を試算

※運行経費は、セダン型車両の1.1倍として運行経費を算出

■セダン型、本格運行

ケース	運賃	運行本数	運行時間帯	会員 (人/日)	非会員 (人/日)	合計 (人/日)	運賃収入 (円/月)	会費収入 (円/月)	運行経費 (円/月)	収支 (円/月)
ケース1	300円	1本/時	9-17 時台	52	39	91	624,000	100,000	722,000	2,000
ケース2	250円			62	47	109	639,000	100,000	912,000	-173,000

※運賃収入は、会員は設定金額、非会員は設定金額+100円とした場合

※1ヶ月に20日運行と仮定して運賃収入、運行経費を試算

■セダン型、試運行

ケース	運賃	運行本数	運行時間帯	会員 (人/日)	非会員 (人/日)	合計 (人/日)	運賃収入 (円/月)	会費収入 (円/月)	運行経費 (円/月)	収支 (円/月)
ケース1	300円	1本/時	9-17 時台	52	39	91	546,000	-	722,000	-176,000
ケース2	250円			62	47	109	545,000	-	912,000	-367,000

※運賃収入は、会員・非会員ともに設定金額とする

※1ヶ月に20日運行と仮定して運賃収入、運行経費を試算